



電話回線の追加および更新

この章では、特定のデバイスのグループまたはユーザデバイスプロファイルの回線属性を[回線の更新 (Update Lines)] オプションによって更新する方法について説明します。電話およびユーザデバイスプロファイルの回線は、これら両方がクエリ結果の一部である場合は同時に更新されます。



- (注) 電話が Cisco Unified Communications Manager データベースから削除された場合、その電話番号はデータベース内に残ります。これらの孤立した電話番号を管理するために、[回線の更新 (Update Lines)] オプションを使用して、未割り当ての電話番号を検索してから削除したり、それらの電話番号を更新したりできます。

Cisco Unified Communications Manager データベース内にある既存の電話のグループまたはユーザデバイスプロファイルに回線を追加できます。テンプレートを 사용하여新しい回線を追加する場合、電話サービスもスピードダイヤルも変更できません。Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) では、既存のデバイスに回線を追加する際、テンプレート上のそれらのフィールドは無視されます。

- [クエリを使用した電話回線の更新 \(1 ページ\)](#)
- [電話回線の更新フィールドの説明 \(3 ページ\)](#)
- [既存の電話機および UDP への電話回線の追加 \(12 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートを使用した既存の電話機への電話回線の追加 \(13 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートを使用して回線を追加する場合の電話回線フィールドの説明 \(14 ページ\)](#)

クエリを使用した電話回線の更新

クエリを使用して電話回線を更新できます。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [回線の追加/更新 (Add/Update Lines)] > [回線の更新 (Update Lines)] または [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザーデバイス プロファイル (User Device Profiles)] > [回線の追加/更新 (Add/Update Lines)] > [回線の更新 (Update Lines)] の順に選択します。

[回線更新クエリ (Update Lines Query)] ウィンドウが表示されます。

(注) クエリを指定しない場合、すべての回線を更新できます。電話回線の更新フィールドの説明 (3 ページ) にスキップします。

ステップ 2 最初の [回線の検索 (Find Line where)] ドロップダウンリスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [電話番号 (Directory Number)]
- [ルート パターン (Route Pattern)]
- [回線の説明 (Line Description)]
- [コーリングサーチスペース (電話機) (Calling Search Space (Phone))]
- Calling Search Space (Line)
- [デバイス プール (Device Pool)]
- Device Description
- Line Position
- 未割り当ての DN
- [コール ピックアップ グループ (Call Pickup Group)]

(注) 孤立した電話番号を特定して削除するには、[未定義の DN (Unassigned DN)] 「」を使用します。

2 番目の [回線の検索 (Find Line where)] ドロップダウンリスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- 次の文字列と完全に一致する
- 次の文字列で終わる
- 空である
- ~が空ではない

ステップ 3 [検索 (Search)] フィールドリスト ボックスで、特定する値を選択または入力します。

例：

リストから [ルート パーティション (Route Partition)] を選択することも、電話番号の範囲を入力することもできます。

ヒント データベースに登録されているすべての回線を検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

- ステップ 4** さらにクエリを定義して複数のフィルタを追加するには、[絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンボックスから [AND] または [OR] を選択し、[ステップ 2](#) と [ステップ 3](#) を繰り返します。
- ステップ 5** 影響を受けるレコードを表示するには、[検索 (Find)] をクリックします。
検出された回線のリストが次の分類で表示されます。
- パターン/電話番号
 - パーティション (Partition)
 - 説明
- ステップ 6** [次へ (Next)] をクリックします。
[回線の更新 (Update Lines)] ダイアログボックスの一番上に、選択したクエリのタイプが表示されます。
- ヒント クエリのタイプを変更する場合は、[戻る (Back)] をクリックします。
- ステップ 7** クエリの中で定義したすべてのレコードを対象として更新する設定値を指定します。
更新する複数のパラメータを選択できます。フィールドの説明については、「[電話回線の更新フィールドの説明 \(3 ページ\)](#)」を参照してください。
- ステップ 8** オンに設定したパラメータの [値 (Value)] フィールドで、新しい値を入力するか、リストボックスから値を選択します。
- ステップ 9** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 10** 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。
- a) すぐに回線を挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
 - b) 後で挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。
- ステップ 11** 電話機レコードを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
このジョブをスケジュールするか、アクティブにするか、またはその両方を行うには、[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用します。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

電話回線の更新フィールドの説明

次の表で、回線詳細の更新に関するフィールドの説明を示します。

一部のフィールドには、Cisco Unified Communications Manager からの値が表示されます。それらの値は、Cisco Unified Communications Manager Administration で設定する必要があります。

表 1: 回線の詳細を更新する場合のフィールドの説明

フィールド	説明
[ルートパーティション (Route Partition)]	パーティションを選択します。パーティションは、電話番号が属するルートパーティションを表します。 (注) この電話番号は、複数のパーティションで表示される可能性があります。
[コーリングサーチスペース (回線) (Calling Search Space (Line))]	この電話番号から発信された番号を検索する対象のパーティションを選択します。 (注) この設定を変更すると、[コールピックアップグループ (Call Pickup Group)]フィールドにリストされている ピックアップグループ名が更新されます。この設定値 は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用さ れます。
[不在転送時コーリングサー チスペース (Secondary Calling Search Space for Forward All)]	コールが指定の接続先に転送されるときに使用するコーリングサー チスペースを選択します。 (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイ スに適用されます。
[不在転送の接続先 (Forward All Destination)]	すべてのコールの転送先とする電話番号を入力します。 (注) この設定は、外部接続先を含め (制限されていない場 合)、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番 号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[すべてボイス メールに転 送 (Forward to Voice Mail)]	ボイスメッセージングプロファイルで選択した番号にすべてのコー ルを転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[不在転送の接続先 (Forward All Destination)]フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]チェックボックスの値が適用されなくなります。
[話中転送コーリングサー チスペース (外部) (Calling Search Space Forward Busy External)]	外部番号からのコールが指定の接続先に転送されるときに使用する コーリングサーチスペースを選択します。 (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイ スに適用されます。

フィールド	説明
[未取得時のパークモニタリング外部転送の接続先 (Park Monitoring Forward No Retrieve Destination External)]	パークされている側が外部の場合、パークしたユーザの [パークモニタリング転送非取得時の接続先 (外部) (Park Monitoring Forward No Retrieve Destination External)] パラメータに指定された接続先にコールが転送されます。[パークモニタリング転送非取得時の接続先 (外部) (Forward No Retrieve Destination External)] フィールドの値が空の場合、パークされた側のコールはパークしたユーザの回線にリダイレクトされます。
[未取得時のパークモニタリング内部転送の接続先 (Park Monitoring Forward No Retrieve Destination Internal)]	パークされている側が内部である場合、パークしたユーザの [未取得時のパークモニタリング転送の接続先 (内部) (Park Monitoring Forward No Retrieve Destination Internal)] パラメータで指定された接続先にコールが転送されます。[パークモニタリング転送非取得時の接続先 (内部) (Park Monitoring Forward No Retrieve Destination Internal)] が空の場合、パークされた側のコールはパークしたユーザの回線にリダイレクトされます。
[パークモニタリング転送非取得時のボイスメール (内部) (Park Monitoring Forward No Retrieve Internal Voice Mail)]	このチェックボックスをオンにすると、[ボイスメールプロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの設定が使用されます。 このボックスをオンにすると、Unified Communications Manager は [接続先 (Destination)] ボックスと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] の設定を無視します。
[パークモニタリング転送非取得時のボイスメール (外部) (Park Monitoring Forward No Retrieve External Voice Mail)]	このチェックボックスをオンにすると、[ボイスメールプロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの設定が使用されます。 このボックスをオンにすると、Unified Communications Manager は [接続先 (Destination)] ボックスと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] の設定を無視します。
パークモニタリング転送非取得時の外部 CSS (Park Monitoring Forward No Retrieve External CSS)	電話番号に適用するコーリングサーチスペースを選択します。
パークモニタリング転送非取得時の内部 CSS (Park Monitoring Forward No Retrieve Internal CSS)	その電話番号に適用するコーリングサーチスペースを選択します。

フィールド	説明
[パークモニタリング復帰タイマー (Park Monitoring Reversion Timer)]	<p>このパラメータは、自分がパークしたコールを取得するようユーザーに求めるまでに Unified Communications Manager が待機する秒数を決定します。このタイマーが開始するのは、ユーザが電話機の [パーク (Park)] ソフトキーを押したときです。タイマーが時間切れになるとアラームが鳴ります。</p> <p>デフォルト : 60 秒</p> <p>0以外の値を設定すると、[サービスパラメータ (Service Parameters)] ウィンドウで設定されたこのパラメータの値が、この値でオーバーライドされます。ただし、ここで値 0 を設定すると、[サービスパラメータ (Service Parameters)] ウィンドウの値が使用されます。</p>
[不在着信のログを取る (Log Missed Calls)]	<p>このチェックボックスを使用して、この機能を有効または無効にします。チェックボックスがオン (有効) として表示されている場合、Cisco Unified Communications Manager は電話機の該当する電話番号のコール履歴に不在着信を記録します。</p>
[パーティ参加トーン (Party Entrance Tone)]	<p>ドロップダウンリストボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : [パーティ参加トーン (Party Entrance Tone)] サービスパラメータに設定されている値を使用します。 • [オン (On)] : 基本コールがマルチパーティコール (つまり割り込みコール、C割り込みコール、アドホック会議、ミーティング会議、参加コール) に変更されるときに、電話でトーンが再生されます。さらに、いずれかの通話者がマルチパーティコールを離れると、別のトーンが再生されます。制御デバイス (つまりマルチパーティコールの発信元) にビルトインブリッジがある場合、制御デバイスで [オン (On)] を選択すると、すべての通話参加者に対してトーンが再生されます。会議コントローラーなどの制御デバイスが通話に存在しない場合、または制御デバイスがトーンを再生できない場合、Unified Communications Manager は [オン (On)] を選択してもトーンを再生しません。 • [オフ (Off)] : 通常コールがマルチパーティコールに変更されたときは、電話機でトーンを再生しません。
[話中転送コーリングサーチスペース (内部) (Calling Search Space Forward Busy External)]	<p>内部番号からのコールが指定の接続先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。</p> <p>(注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>

フィールド	説明
[話中転送の接続先 (外部) (Forward Busy Destination External)]	回線が使用中のときに、外部番号から発信されたコールの転送先とする電話番号を入力します。 (注) この設定は、外部接続先を含め (制限されていない場合)、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[話中転送の接続先 (内部) (Forward Busy Destination Internal)]	回線が使用中のときに、内部番号から発信されたコールの転送先とする電話番号を入力します。 (注) この設定は、外部接続先を含め (制限されていない場合)、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[話中ボイス メール転送 (外部) (Forward Busy to Voice Mail External)]	回線の使用中に、ボイス メッセージング プロファイルで選択した番号に外部番号からのコールを転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[話中転送 (外部) 接続先 (Forward Busy Destination External)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスの値が適用されなくなります。
[話中ボイス メール転送 (内部) (Forward Busy to Voice Mail Internal)]	回線の使用中に、ボイス メッセージング プロファイルで選択した番号に内線番号からのコールを転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[話中転送 (外部) 接続先 (Forward Busy Destination External)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスの値が適用されなくなります。
[無応答時転送コーリングサーチスペース (外部) (Calling Search Space Forward No Answer External)]	外部番号からのコールが指定の接続先に転送されるときに使用されるコーリングサーチスペースを選択します。この設定は、システムで設定されている場合にのみ表示されます。 (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[無応答時転送コーリングサーチスペース (内部) (Calling Search Space Forward No Answer Internal)]	内部番号からのコールが指定の接続先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定はシステムで設定されている場合にのみ表示されます。 (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。

フィールド	説明
[無応答時転送の接続先 (外部) (Forward No Answer Destination External)]	<p>電話機が応答しないときに、外部番号からのコールの転送先とする電話番号を入力します。</p> <p>(注) この設定は、外部接続先を含め (制限されていない場合)、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[無応答時転送の接続先 (内部) (Forward No Answer Destination Internal)]	<p>電話機が応答しないときに、内部番号からのコールの転送先とする電話番号を入力します。</p> <p>(注) この設定は、外部接続先を含め (制限されていない場合)、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[無応答時ボイス メール転送 (外部) (Forward No Answer to Voice Mail External)]	<p>外部番号からの無応答コールをボイス メッセージング プロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、[無応答時転送の接続先 (Forward No Answer Destination)]フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]チェックボックスの値が適用されなくなります。</p>
[無応答時ボイス メール転送 (内部) (Forward No Answer to Voice Mail Internal)]	<p>内部番号からの無応答コールをボイス メッセージング プロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、[無応答時転送の接続先 (Forward No Answer Destination)]フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]チェックボックスの値が適用されなくなります。</p>
[無カバレッジ時転送コーリングサーチスペース (外部) (Calling Search Space Forward No Coverage External)]	<p>外部番号からのコールが指定の接続先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定は、システムで設定されている場合にのみ表示されます。</p> <p>(注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[無カバレッジ時転送コーリングサーチスペース (内部) (Calling Search Space Forward No Coverage Internal)]	<p>内部番号からのコールが指定の接続先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定はシステムで設定されている場合にのみ表示されます。</p> <p>(注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>

フィールド	説明
[無カバレッジ時転送の接続先 (外部) (Forward No Coverage Destination External)]	電話機にカバレッジがないときに、外部番号からのコールの転送先とする電話番号を入力します。 (注) この設定は、外部接続先を含め (制限されていない場合)、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[無カバレッジ時転送の接続先 (内部) (Forward No Coverage Destination Internal)]	電話機にカバレッジがないときに、内部番号からのコールの転送先とする電話番号を入力します。 (注) この設定は、外部接続先を含め (制限されていない場合)、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[無カバレッジ時ボイスメール転送 (外部) (Forward No Coverage to Voice Mail External)]	電話機にカバレッジがないときに、ボイスメッセージングプロファイルで選択した番号に外部番号からのコールを転送するには、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[無応答時転送の接続先 (Forward No Answer Destination)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスの値が適用されなくなります。
[無カバレッジ時ボイスメール転送 (内部) (Forward No Coverage to Voice Mail Internal)]	電話機にカバレッジがないときに、ボイスメッセージングプロファイルで選択した番号に外部番号からのコールを転送するには、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[無応答時転送の接続先 (Forward No Answer Destination)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスの値が適用されなくなります。
[失敗時転送コーリングサーチスペース (外部/内部) (Calling Search Space Forward on Failure External/Internal)]	(CTI ポートのみ) 内部番号または外部番号からのコールが指定の接続先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定はシステムで設定されている場合にのみ表示されます。 (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[失敗時転送の接続先 (外部/内部) (Forward on Failure Destination External/Internal)]	(CTI ポートのみ) 電話または CTI アプリケーションが失敗したときに、内部番号または外部番号からのコールの転送先とする電話番号を入力します。

フィールド	説明
[失敗時ボイス メール転送 (外部/内部) (Forward on Failure to Voice Mail External/Internal)]	(CTI ポートのみ) 内部番号または外部番号からの失敗したコールをボイス メッセージング プロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。
[無応答時転送の呼び出し時間 (Call Forward No Answer Ring Duration)]	コールに呼び出しを許可する秒数 (1 ~ 300) を入力します。この時間に達すると、[無応答時転送の接続先 (Forward No Answer Destination)] フィールドに入力された接続先番号にコールが転送されます。 (注) Cisco Unified Communications Manager の [無応答時転送 タイマー (Forward No Answer Timer)] サービス パラメータの設定値を使用するには、このフィールドを空白のままにします。
[ユーザ保留音源 (User Hold Audio Source)]	ユーザが [保留 (Hold)] ボタンまたはソフトキーを押してコールを保留にすると再生される保留音の音源を選択します。
[ネットワーク保留音源 (Network Hold Audio Source)]	ユーザがコールを転送する際、または電話会議やコールパークを開始する際にシステムがコールを保留にすると再生される保留音の音源を選択します。
自動応答 (Auto Answer)	ここで更新されたすべての回線に自動応答機能を使用させる場合は、このパラメータを選択します。自動応答では、ヘッドセットが使用中の場合、Cisco Unified Communications Manager が自動的にコールに応答します。着信コールが接続されたことをユーザに通知するために、ジップ音が再生されます。
[ボイスメールプロファイル (Voice Mail Profile)]	パイロット番号をこの回線の電話番号と同じにするには、このパラメータを選択します。この選択は、電話機にボイスメッセージングサーバが設定されていない場合に役立ちます。
[呼出音設定 (電話のアイドル時) (Ring Setting When Idle)]	電話機で着信コールに使用する呼出音のタイプを選択します。
[呼出音設定 (電話のアイドル時) (Ring Setting when Active)]	電話機の別の回線に別のアクティブコールがあるときに、電話機で着信コールに使用する呼出音のタイプを選択します。
[コール ピックアップ グループ名 (Call Pickup Group Name)]	ピックアップグループ名を選択してコール ピックアップグループを指定します。該当するピックアップグループ番号をダイヤルすることにより、指定されたコール ピックアップグループは、この電話番号への着信コールに応答できます。

フィールド	説明
[AARグループ (AAR Group)]	<p>このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループはプレフィックス番号を設定します。この番号は、帯域幅不足のためにブロックされるコールをルーティングする際に使用されます。</p> <p>ブロックされるコールがルーティングされないようにするには、[AARグループ (AAR Group)] を [なし (<None>)] に設定します。</p>
[ターゲット (転送先) (Target (Destination))]	<p>この電話番号が MLPP 優先コールを受信し、この電話番号だけでなくこの電話番号の転送先も優先コールに応答しない場合に MLPP 優先コールを転送する番号を入力します。</p> <p>入力できる値は、数字、ポンド記号 (#)、およびアスタリスク (*) です。</p>
[MLPP コーリングサーチスペース (MLPP Calling Search Space)]	ドロップダウン リスト ボックスから、代替パーティ転送先 (接続先) 番号に関連付ける コーリング サーチ スペースを選択します。
[MLPP 無応答時の呼び出し時間 (MLPP No Answer Ring Duration)]	<p>この電話番号も、この電話番号の転送先も優先コールに応答しない場合、ここに入力する秒数 (4 ~ 30) が経過すると、MLPP 優先コールがこの電話番号の代替パーティに転送されます。</p> <p>Unified Communications Manager の [優先代替パーティ タイムアウト (Precedence Alternate Party Timeout)] エンタープライズパラメータの設定値を使用するには、この設定を空白のままにします。</p>
[外部電話番号マスク (External Phone Number Mask)]	<p>この回線からコールが発信されたときに、発信者 ID 情報として送信される電話番号 (またはマスク) を入力します。</p> <p>最大 30 個の番号と文字「X」「」を入力できます。X は電話番号を表し、パターンの末尾に使用する必要があります。たとえば、マスク 972813XXXX を指定すると、内線 1234 からの外部コールでは、発信者 ID の番号として 9728131234 が表示されます。</p>
[コール最大数 (Maximum Number of Calls)]	<p>クラスタ内のデバイスの回線には最大 184 のコールを設定できます。ただし、デバイス自体が制限要因となります。1つの回線のコール数を設定すると、別の回線で使用できるコール数が減少します。</p> <p>デフォルト値は 4 です。電話機が各回線に対して複数のコールを許可しない場合、デフォルトで値が 2 に設定されます。</p> <p>CTI ルートポイントの場合、ポートごとに最大 10,000 件のコールを設定できます。デフォルトではコール数が 5000 に指定されます。</p> <p>このフィールドは [話中トリガー (Busy Trigger)] フィールドと組み合わせて使用します。</p>

フィールド	説明
[話中トリガー (Busy Trigger)]	<p>この設定は [コール最大数 (Maximum Number of Calls)] および [話中転送 (Call Forward Busy)] と共に機能し、回線上に存在できるコールの最大数を決定します。たとえば、最大コール数を 50 に設定し、話中トリガーを 40 に設定した場合、41 番目の着信コールはビジーであるという理由で拒否されます。その際に、[話中転送 (Call Forward Busy)] が設定されている場合は転送もされます。この回線が共有されている場合は、すべての回線がビジーでない限り、着信コールは拒否されません。</p> <p>このフィールドは、CTI ルートポイントの [コール最大数 (Maximum Number of Calls)] と組み合わせて使用します。デフォルトではコール数が 4500 に指定されます。</p>

既存の電話機および UDP への電話回線の追加

既存の電話機および UDP テンプレートに回線を追加できます。

始める前に

- このトランザクション用の BAT テンプレートを用意しておく必要があります。
- このトランザクション用の CSV データ ファイルを用意しておく必要があります。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [回線の追加/更新 (Add/Update Lines)] > [回線の追加 (Add Lines)] の順に選択します。
[電話回線の追加 (Phone Add Lines)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、この一括トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** [電話テンプレート名 (Phone Template Name)] フィールドで、この一括トランザクションで使用する BAT 電話機テンプレートを選択します。
- ステップ 4** テンプレートで既存の電話機の電話設定を変更する場合、[既存の電話ボタンテンプレートの更新 (Update the existing phone button template)] チェックボックスをオンにします
このチェックボックスがオンになっている場合、ユーザの電話情報も更新されます。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。
 - a) すぐに電話機レコードを挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
 - b) 後で電話機レコードを挿入する場合は、[あとで実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ7 既存の電話機およびUDPに回線を追加するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

このジョブをスケジュールするか、アクティブにするか、またはその両方を行うには、[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用します。

関連トピック

[BAT スプレッドシートを使用した既存の電話機への電話回線の追加 \(13 ページ\)](#)

[BAT テンプレート内の電話回線の追加または更新](#)

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

BAT スプレッドシートを使用した既存の電話機への電話回線の追加

BAT スプレッドシートを使用して、既存の電話機に電話回線を追加する CSV データ ファイルを作成できます。

BAT スプレッドシートへの回線の追加を終了したら、その内容を CSV 形式のデータ ファイルにエクスポートできます。エクスポートされた CSV 形式のデータファイルには、次のようなデフォルトのファイル名が割り当てられます。

```
<tabname>-<timestamp>.txt
```

ここで、<tabname> は電話機などの作成された入力ファイルのタイプを表し、<timestamp> はファイルが作成された正確な日時を表します。

システムによって、ファイルは C:\XLSDataFiles\ に保存されます。ローカルワークステーション上の既存の別のフォルダに保存することもできます。エクスポートしたファイルをローカルワークステーションに保存したら、CSV 形式のデータファイルの名前を変更できます。いずれかのフィールドにカンマを入力すると、BAT 形式にエクスポートする際に BAT.xlt はそのフィールド エントリを二重引用符で囲みます。



(注) CSV ファイル名にカンマが含まれていると (例: abcd,e.txt)、Unified Communications Manager サーバにアップロードできません。

スプレッドシートに空の行を含める場合、システムは空の行をファイルの終わりとして扱いません。空の行の後ろに入力したデータは、BAT 形式に変換されません。

手順

ステップ1 BAT スプレッドシートを開くには、BAT.xlt ファイルを探してダブルクリックします。

ステップ 2 スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。

ステップ 3 フィールドを表示するには、スプレッドシートの下部にある [回線の追加 (Add Lines)] タブ をクリックします。

ステップ 4 [電話機 (Phones)] ラジオ ボタンを選択して、回線を電話機に追加します。

(注) [ユーザ デバイス プロファイル (User Device Profile)] ラジオ ボタンを選択することによって、ユーザ デバイス プロファイルに回線を追加することもできます。

ステップ 5 スプレッドシートで、各回線の個々の電話についてデータを入力します。

すべての必須フィールドと関連するオプションフィールドに値を入力します。各列の見出しではフィールドの長さが指定され、また必須であるか、オプションであるかも指定されます。フィールドの説明については、「[表 2: BAT スプレッドシートを使用して回線を追加する場合のフィールドの説明 \(14 ページ\)](#)」を参照してください。

ステップ 6 BAT Excel スプレッドシートから CSV 形式のデータファイルにデータを移すには、[BAT 形式にエクスポート (Export to BAT Format)] をクリックします。

ヒント エクスポートされた CSV データファイルを読み取る方法については、BAT の [電話の挿入 (Insert phones)] ウィンドウにある [サンプルファイルの表示 (View Sample File)] へのリンクをクリックします。

システムによって、ファイルはデフォルトのファイル名 <tablename>-<timestamp>.txt で C:\XLSDataFiles\ に保存されます。[参照 (Browse)] を使用して、ローカルワークステーション上の既存の別のフォルダに保存することもできます。

関連トピック

[CSV データファイルを作成するために BAT スプレッドシートのデータを収集するファイルのアップロードおよびダウンロード](#)
[サーバへのファイルのアップロード](#)

BAT スプレッドシートを使用して回線を追加する場合の電話回線フィールドの説明

次の表に、BAT スプレッドシートを使用して回線を追加する場合のフィールドの説明を記載します。

表 2: BAT スプレッドシートを使用して回線を追加する場合のフィールドの説明

フィールド	説明
MAC アドレス (MAC Address)	電話機、VGC 仮想電話機、VGC 電話機の MAC アドレスを入力します。CTI ポートおよび H.323 クライアントの固有 ID を入力します。

フィールド	説明
[回線インデックス (Line Index)]	電話の回線インデックスを表す数字 (1 ~ 34) を入力します。
[電話番号 (Directory Number)]	この回線の電話番号を最大 24 文字の数字と特殊文字で入力します。
ディスプレイ (Display)	着信側電話機のディスプレイに表示されるテキスト (たとえば、ユーザ名 (John Smith)、電話機のロケーション (Conference Room 1) など) を入力します。 (注) このフィールドが空白のままになっている場合、システムは [電話番号 (Directory Number)] フィールドに入力されている値を使用します。 (注) デフォルト言語は英語です。
[回線テキスト ラベル (Line Text Label)]	回線と電話の組み合わせについて、この電話番号を特定するテキストを入力します。 (注) デフォルトでは英語が指定されています。
[話中転送 (外部) (Forward Busy External)]	回線が使用中のときに、外線番号から着信したコールの転送先となる電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先 (制限されていない場合) を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[無応答時転送 (外部) (Forward No Answer External)]	電話機が応答しない場合に、外線番号から着信したコールの転送先となる電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先 (制限されていない場合) を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[カバレッジ無し時転送 (外部) (Forward No Coverage External)]	電話機のカバレッジがない場合に、外線番号から着信したコールの転送先となる電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先 (制限されていない場合) を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。

フィールド	説明
[話中転送（内部）（Forward Busy Internal）]	回線が使用中のときに、内部番号から発信されたコールの転送先とする電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先（制限されていない場合）を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[無応答時転送（内部）（Forward No Answer Internal）]	電話機が応答しないときに、内部番号からのコールの転送先とする電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先（制限されていない場合）を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
カバレッジ無し時転送（内部）（Forward No Coverage Internal）]	電話機にカバレッジがないときに、内部番号からのコールの転送先とする電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部接続先を含め（制限されていない場合）、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[コール ピックアップ グループ（Call Pickup Group）]	ピックアップグループ名を入力してコールピックアップグループを指定します。このグループは、適切なピックアップグループ番号をダイヤルすることにより、この回線への着信に回答できます。
[未取得時のパークモニタリング外部転送の接続先（Park Monitoring Forward No Retrieve Destination External）]	パークされている側が外部である場合、パークしたユーザの[未取得時のパークモニタリング転送の接続先（外部）（Park Monitoring Forward No Retrieve Destination External）]パラメータで指定された接続先にコールが転送されます。[パークモニタリング転送非取得時の接続先（外部）（Forward No Retrieve Destination External）]フィールドの値が空の場合、パークされた側のコールはパークしたユーザの回線にリダイレクトされます。
[未取得時のパークモニタリング内部転送の接続先（Park Monitoring Forward No Retrieve Destination Internal）]	パークされている側が内部である場合、パークしたユーザの[未取得時のパークモニタリング転送の接続先（内部）（Park Monitoring Forward No Retrieve Destination External）]パラメータで指定された接続先にコールが転送されます。[パークモニタリング転送非取得時の接続先（内部）（Park Monitoring Forward No Retrieve Destination Internal）]が空の場合、パークされた側のコールはパークしたユーザの回線にリダイレクトされます。

フィールド	説明
[パークモニタリング復帰タイマー (Park Monitoring Reversion Timer)]	このパラメータは、自分がパークしたコールを取得するようユーザーに求めるまでに Unified Communications Manager が待機する秒数を決定します。このタイマーが開始するのは、ユーザーが電話機の [パーク (Park)] ソフトキーを押したときです。タイマーが時間切れになるとアラームが鳴ります。 デフォルト : 60 秒 0 以外の値を設定すると、その値によって、[サービスパラメータ (Service Parameters)] ウィンドウで設定されたこのパラメータの値が上書きされます。ただし、ここで値 0 を設定すると、[サービスパラメータ (Service Parameters)] ウィンドウの値が使用されません。
[パークモニタリング転送非取得時のボイスメール (内部) (Park Monitoring Forward No Retrieve Internal Voice Mail)]	この設定には、[ボイスメールプロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの設定が使用されます。 このボックスをオンにすると、Unified Communications Manager は [接続先 (Destination)] ボックスと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] の設定を無視します。
未取得時のパークモニタリング転送 (外部) ボイスメール (Park Monitoring Forward No Retrieve External Voice Mail)	この設定には、[ボイスメールプロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの設定が使用されます。 このボックスをオンにすると、Unified Communications Manager は [接続先 (Destination)] ボックスと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] の設定を無視します。
パークモニタリング転送非取得時の外部 CSS (Park Monitoring Forward No Retrieve External CSS)	電話番号に適用するコーリングサーチスペースを選択します。
パークモニタリング転送非取得時の内部 CSS (Park Monitoring Forward No Retrieve Internal CSS)	電話番号に適用するコーリングサーチスペースを選択します。
[不在着信のログを取る (Log Missed Calls)]	このフィールドを使用して、この機能をオンまたはオフにすることができます。Unified Communications Manager が電話機その電話番号に関するコール履歴に不在着信を記録できるようにするには、「T」と入力します。「F」と入力すると、この機能が無効になります。

フィールド	説明
[パーティ参加トーン (Party Entrance Tone)]	<p>パーティ参加トーンに関する次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)]: [パーティ参加トーン (Party Entrance Tone)] サービスパラメータに設定された値を使用します。 • [オン (On)]: 基本コールがマルチパーティコール (つまり割り込みコール、C 割り込みコール、アドホック会議、ミーティング会議、参加コール) に変更されるときに、電話でトーンが再生されます。さらに、いずれかの通話者がマルチパーティコールを離れると、別のトーンが再生されます。制御デバイス (つまりマルチパーティコールの発信元) にビルトインブリッジがある場合、制御デバイスで [オン (On)] を選択すると、すべての通話参加者に対してトーンが再生されます。会議コントローラーなどの制御デバイスが通話に存在しない場合、または制御デバイスがトーンを再生できない場合、Unified Communications Manager は [オン (On)] を選択してもトーンを再生しません。 • [オフ (Off)]: 通常コールがマルチパーティコールに変更されたときは、電話機でトーンを再生しません。
[電話番号の URI (URI on Directory Number)]	<p>この電話機の電話番号に関連付けるディレクトリ URI を入力します。username@host の形式で入力してください。最大 47 文字の英数字からなるユーザ名を入力します。ホストアドレスには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。</p> <p>(注) 1 つの電話番号に対して、最大 5 つのディレクトリ URI を関連付けることができます。ただし、1 つのプライマリ ディレクトリ URI を選択する必要があります。</p>
[電話番号の URI ルートパーティション (URI Route Partition on Directory Number)]	<p>ディレクトリ URI が属するルートパーティションを入力します。ディレクトリ URI へのアクセスを制限しない場合は、このフィールドを空白のままにします。</p>
[電話番号の URI がプライマリ (URI Is Primary on Directory Number)]	<p>このディレクトリ URI をこの内線番号のプライマリディレクトリ URI として指定するには、「t」 (True) と入力します。このディレクトリ URI をこの内線番号のプライマリディレクトリ URI として指定しない場合は、「f」 (False) と入力します。</p> <p>(注) 1 つの電話番号に対して、最大 5 つのディレクトリ URI を関連付けることができます。ただし、1 つのプライマリ ディレクトリ URI を選択する必要があります。</p>

フィールド	説明
[エンタープライズをローカルルートパーティションに追加 (Enterprise Add to Local Route Partition)]	このエンタープライズ代替番号をローカルルートパーティションに追加するには、「t」と入力します。E.164 番号をローカルルーティングに含めない場合は、「f」と入力します。
エンタープライズをグローバルでアドバタイズ (Enterprise Advertise via globally)	ILS でこの代替番号を ILS ネットワークの残りの部分にアドバタイズできるようにするには、「t」と入力します。ILS にこの番号をアドバタイズさせない場合は、「f」と入力します。
エンタープライズは緊急 (Enterprise Is Urgent)	この代替番号を緊急として分類するには、「t」と入力します。 デフォルトでは、オーバーラップするルートパターンがダイヤルプランに含まれる場合、Unified Communications Manager は (ダイヤルされた番号にルートが存在する可能性があるとしても) 桁間タイマーが満了するまでコールをルーティングしません。この設定により、Unified Communications Manager はダイヤル文字列に関して可能なすべてのルートから最適一致を選択することができ、学習された番号と静的に設定された電話番号/番号パターンとのオーバーラップに対処できます。 番号の優先順位を緊急としてマークすると、Unified Communications Manager はダイヤル番号と可能なルートとの間で一致を見つけたとき、桁間タイマー (たとえば T302 タイマーサービスパラメータ) が満了するのを待たずに、即時にコールをルーティングします。
エンタープライズ番号マスク (Enterprise Number Mask)	電話番号に適用する番号マスクを入力します。Unified Communications Manager はこのマスクを適用して、この電話番号のエイリアスとなるエンタープライズ代替番号を作成します。
エンタープライズルートパーティション (Enterprise Route Partition)	このエンタープライズ代替番号の割り当て先となるルートパーティションを入力します。
+E.164 をローカルルートパーティションに追加 (+E.164 Add to Local Route Partition)	この E.164 代替番号をローカルルートパーティションに追加するには、「t」と入力します。E.164 番号をローカルルーティングに含めない場合は、「f」と入力します。
[+E.164をグローバルでアドバタイズ (Enterprise Advertise via globally)]	ILS でこの代替番号を ILS ネットワークの残りの部分にアドバタイズできるようにするには、「t」と入力します。ILS にこの番号をアドバタイズさせない場合は、「f」と入力します。

フィールド	説明
+E.164 は緊急 (+E.164 Is Urgent)	<p>この代替番号を緊急として分類するには、「t」と入力します。</p> <p>デフォルトでは、オーバーラップするルートパターンがダイヤルプランに含まれる場合、Unified Communications Manager は（ダイヤルされた番号にルートが存在する可能性があるとしても）桁間タイマーが満了するまでコールをルーティングしません。この設定により、Unified Communications Manager はダイヤル文字列に関して可能なすべてのルートから最適一致を選択することができ、学習された番号と静的に設定された電話番号/番号パターンとのオーバーラップに対処できます。</p> <p>番号の優先順位を緊急としてマークすると、Unified Communications Manager はダイヤル番号と可能なルートとの間で一致を見つけたとき、桁間タイマー（たとえば T302 タイマーサービスパラメータ）が満了するのを待たずに、即時にコールをルーティングします。</p>
+E.164 番号マスク (+E.164 Number Mask)	<p>電話番号に適用する番号マスクを入力します。Unified Communications Manager はこのマスクを適用して、この電話番号のエイリアスとなる +E.164 代替番号を作成します。</p>
+E.164 ルートパーティション (+E.164 Route Partition)	<p>この +E.164 代替番号の割り当て先となるルートパーティションを入力します。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。